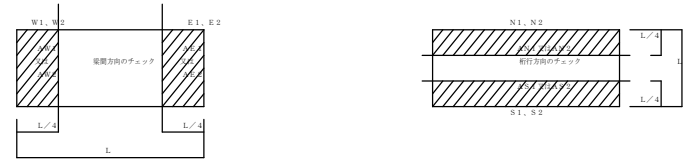
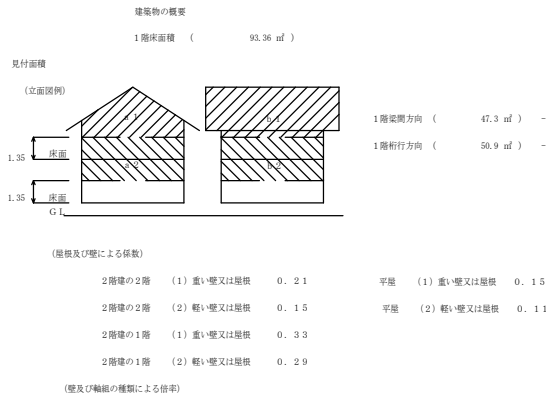


平成12年5月23日付け 建設省告示第1352号
(木造建築物の軸組の設置の基準を定める件)によるチェック)



建築基準法施行令第46条第3項に基づく筋違計算表 (S. 56. 6. 1施行)



区分	軸 組	倍率
(1)	土造り壁、木づり面壁	0.5
(2)	イ、木づり両面壁	1.0
	ロ、厚さ1.5cm幅9cmの木材、φ9の鉄筋の筋造	
(3)	厚さ3cm幅9cmの木材の筋造	1.5
(4)	厚さ4.5cm幅9cmの木材の筋造	2.0
(5)	9cm角の木材の筋造	3.0
(6)	(2)～(4)の筋造をタスキに入れる	各2倍
(7)	(5)の筋造をタスキに入れる	5.0
(8)	(1)、(2)の壁と(2)～(6)の筋造を使用	それぞれの
(9)	構造用合板(告示第163号)	2.5

		床面積による軸組計算		見付面積による軸組計算													
		梁間、桁行方向長		梁間方向				桁行方向									
		床面積		a 1				b 1									
		93.36 × 0.11 = A 0.21 0.15		47.3 × 0.5 = B				50.9 × 0.5 = C									
要求される軸組の長さ		A	10.2696 m	要求される軸組の長さ				B	23.65 m	要求される軸組の長さ				C	25.45 m		
平床構造又は階床の一階部分	有効軸組の長さ	区分		桁行方向軸組長さ× 個所 × 倍率 = 有効軸組長さ				区分		梁間方向軸組長さ× 個所 × 倍率 = 有効軸組長さ				区分			
		4		0.909	3	2	5.454	4		0.909	7	2	12.726				
		4		1.212	2	2	4.848	4		1.15	1	2	2.3				
		4		1.3635	3	2	8.181	4		1.212	3	2	7.272				
		4		1.818	4	2	14.544	4		1.3635	2	2	5.454				
							0	4		1.818	5	2	18.18				
							0						0				
							0						0				
							0						0				
							0						0				
判定		B 23.65 又は A 10.2696 =		33.027 m				C 25.45 又は A 10.2696 =		45.932 m							
二階床の面部分	有効軸組の長さ	床面積		0.33	a 1				a 2	b 1				b 2			
		0.29		0				0	0				0				
		要求される軸組の長さ		D	0 m	要求される軸組の長さ				E	0 m	要求される軸組の長さ				F	0 m
		区分		桁行方向軸組長さ× 個所 × 倍率 = 有効軸組長さ				区分		梁間方向軸組長さ× 個所 × 倍率 = 有効軸組長さ				区分			
								0						0			
								0						0			
								0						0			
								0						0			
								0						0			
								0						0			
判定		E 0 又は D 0 =		0 m				F 0 又は D 0 =		0 m							

1 階段方向

N1部分の床面積＝

12,726/497,7265

= (S11)

24,982 ㎡

必要質量＝ (A11)

24.982 ㎡×階段及び壁による係数 0.11 × (S1)

2,760.82 ㎡

存在壁＝壁及び柱の面積による係数×N1部分の柱断面長をえた数値の和＝ (S1)

軸組長さ 0.909 m × 断面数 2 箇所×壁率 2 倍＝S11-①

3.636

軸組長さ 1.818 m × 断面数 1 箇所×壁率 2 倍＝S11-②

3.636

軸組長さ 1.8635 m × 断面数 1 箇所×壁率 2 倍＝S11-③

2.727

軸組長さ 0 m × 断面数 0 箇所×壁率 0 倍＝S11-④

0

軸組長さ 0 m × 断面数 0 箇所×壁率 0 倍＝S11-⑤

0

合計 (S11)

9.999

壁量充足率(存在壁率: S1)

9.999 ÷ 必要壁量(S1)

2,760.82 ÷ (S1)

6.967

・・・②

S1部分の床面積＝

12,726/496,363

= (S12)

20,244 ㎡

必要質量＝ (A12)

20.244 ㎡×壁及び壁による係数 0.11 × (S1)

2,228.84 ㎡

存在壁＝壁及び柱の面積による係数×S1部分の柱断面長をえた数値の和＝ (S12)

軸組長さ 1.1212 m × 断面数 1 箇所×壁率 2 倍＝S12-①

2.242

軸組長さ 1.818 m × 断面数 1 箇所×壁率 2 倍＝S12-②

3.636

軸組長さ 0 m × 断面数 0 箇所×壁率 0 倍＝S12-③

0

軸組長さ 0 m × 断面数 0 箇所×壁率 0 倍＝S12-④

0

軸組長さ 0 m × 断面数 0 箇所×壁率 0 倍＝S12-⑤

0

合計 (S12)

6.06

壁量充足率(存在壁率: S12)

6.06 ÷ 必要壁量(S12)

2,228.84 ÷ (S12)

2.7213

・・・③

①及び②>1.0・・・OK

①及び③<1.0の場合

壁量充足率の小さな方 (S1又はS12)

=

≧0.5・・・OK

壁量充足率の小さな方 (S1又はS12)

=

≧0.5・・・OK

2 階段方向

N2部分の床面積＝

7,726/499.09×6.561545/436

= (S12)

19.4324 ㎡

必要質量＝ (A12)

0 ㎡×階段及び壁による係数 0 × (S12)

0

存在壁＝壁及び柱の面積による係数×N2部分の柱断面長をえた数値の和＝ (S12)

軸組長さ 0 m × 断面数 0 箇所×壁率 0 倍＝S12-①

0

軸組長さ 0 m × 断面数 0 箇所×壁率 0 倍＝S12-②

0

軸組長さ 0 m × 断面数 0 箇所×壁率 0 倍＝S12-③

0

軸組長さ 0 m × 断面数 0 箇所×壁率 0 倍＝S12-④

0

軸組長さ 0 m × 断面数 0 箇所×壁率 0 倍＝S12-⑤

0

合計 (S12)

0

壁量充足率(存在壁率: S12)

0 ÷ 必要壁量(S12)

0 ÷ (S12)

無限大

・・・④

S1部分の床面積＝

7,726/412.726

= (A13)

0 ㎡

必要質量＝ (A12)

0 ㎡×階段及び壁による係数 0.29 × (S12)

0

存在壁＝壁及び柱の面積による係数×S2部分の柱断面長をえた数値の和＝ (S12)

軸組長さ 0 m × 断面数 0 箇所×壁率 0 倍＝S12-①

0

軸組長さ 0 m × 断面数 0 箇所×壁率 0 倍＝S12-②

0

軸組長さ 0 m × 断面数 0 箇所×壁率 0 倍＝S12-③

0

軸組長さ 0 m × 断面数 0 箇所×壁率 0 倍＝S12-④

0

軸組長さ 0 m × 断面数 0 箇所×壁率 0 倍＝S12-⑤

0

合計 (S12)

0

壁量充足率(存在壁率: S12)

0 ÷ 必要壁量(S12)

0 ÷ (S12)

無限大

・・・⑤

①及び②>1.0・・・OK

①及び③<1.0の場合

壁量充足率の小さな方 (S2又はS12)



=

≧0.5・・・OK

壁量充足率の小さな方 (S2又はS12)

=

≧0.5・・・OK

 〒259-1305 秦野市堀川13-2 (株) 岩田幸司設計事務所 1級建築士事務所 TEL 0463-88-3007		縮尺	工事名称	図面番号 KT-201
		設計年月日	平成17年度秦野市くずは青少年野外センター再整備事業附属棟建築工事 図面名称 便所棟 筋違計算表	